

2025年11月14日（金）に、第9回小規模勉強会を開催いたしました。



【古川氏】

2025年11月14日（金）に、第9回小規模交流勉強会を開催しました。今回は「最近のM&A事情」をテーマに、古川英一様（TOKYO 企業情報(株)代表取締役）をプレゼンターとしてお招きし、9名の会員の皆様の参加を得て「交流と学び」の有意義な時間を過ごしました。

冒頭に古川様から、上場会社、未公開会社それぞれで生じている最近のM&Aの話題についてお話をいただきました。まず上場会社においては、「同意なき買収」が活発になってきた。現在もMBOに対抗した複数のTOBの案件が進んでいるが、これらは内部情報を最も知っている経営者が提示するMBOの価格が低すぎることから始まっているとのことでした。またかつては敵対的買収と呼ばれていたが、肯定的に捉えている経営者も4割に上がっており、同意なき買収に対する見方が変わってきているとお話をいただきました。次に未公開会社が気を付けなくてはならない「M&Aの仲介の罠」について話されました。最近では本来譲渡後に解消されるはずの経営者保証が残されていた事例や、買い手により会社の資金が抜かれ、債務だけが会社に残り金融機関など債権者に迷惑をかける事例が、社会問題となっていることを話されました。M&Aの仲介業者は現在4,000社以上あり、信頼できる業者や買い手を選ぶことが重要とのことでした。

その後の会員一人一人からの質問タイムでは、古川様とともにご参加いただいた齊藤理事からもたくさんの興味深いお話をいただき、参加された皆さまにとって多様な視点からの示唆の多い勉強会となりました。

参加された会員の皆様から好評のお声が届いております。『M&Aについて、「①戦略②目的③シナジーの順に考える」、「失敗(経験)するものだという意識をもって取り組む」、「ロングリストをつくる」、「ごく当たり前のことを当たり前に実行する」など他にも様々なことを学ばせていただきました。』『地方創生の手段としてのM&Aの有効性と落とし穴が勉強になりました。』『社外取締役等で学者や弁護士、会計士を入れる会社があるが、会社経営をしたことがない専門家を入れても有益にならない、という齊藤先生のお話も大変参考になりました。』『このような有益なお話を会社に持ち帰って人材育成や経営強化に役立てたい。』

この小規模交流勉強会は、新しい学び交流の場として会員から大変好評をいただいている活動です。会員の皆様に喜んでいただけるテーマを設定し、開催して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。（池田記）



【懇親会風景】



【記念写真】